

郵趣振興協会 活動報告（35）

第9期（2025年度）第3Q

2025年9月15日～2025年12月5日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会（以下「当協会」と略す。）は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

表彰事業「郵趣振興大賞」の創設

当協会では、表彰事業の開始について討議してまいりましたが、2025年10月21日の理事会で「表彰規則」を定め、「郵趣振興大賞」という賞を設けて、本年度から開始することについて決定しました。

「郵趣振興大賞」は、郵趣振興に顕著な業績を挙げた方にスポットライトを当てる賞で、詳細を表彰規則に定めました。

候補者は、会員（正会員・賛助会員）より広く募集した上で、表彰委員会による選定を経る点も特徴です。

第1回目の表彰式は、ジャパン・フィラテリスト・サミット2026の中で行うことを予定していますが、それに先立ち、今週末開催の「ザ・ミーティング」で事業説明を行った後に、対象者の推薦や選考委員会の設置を行う予定です。

新たに始まった、「郵趣振興大賞」について、どうぞご注目ください。

表彰事業「郵趣振興大賞」の募集

郵趣振興大賞は、郵趣振興協会が2025年度より開始する表彰です。

郵趣振興に顕著な業績を挙げた方にスポットライトを当てる賞で、ジャパン・フィラテリスト・サミット2026で表彰を行うことを予定しています

候補者は、会員（正会員・賛助会員）より広く募集した上で、表彰委員会による選定を経る点が特徴です。右のホームページから、候補者の推薦を受け付けています。



<https://forms.gle/dN5LX7982F7w5CE39>

会員と理事の懇談会「ザ・ミーティング」を開催

以下の日時・場所で開催しました懇談会「ザ・ミーティング」について、報告します。

日時：2025年11月1日（土）17時04分～17時40分（36分間）

会場：台東区民会館9階 特別会議室（和室）

ザ・ミーティング参加者

参加者： 20名

内、会員外： 5名

事前には、ザ・ミーティング（会員と理事の懇談会）へのご出席は会員のみを想定しておりましたが、傍聴を希望される会員外の方もいらっしゃいましたので、当協会を知っていただく良い機会と捉え、ご同席いただきましたことをお知らせします。



役員（理事、幹事）の紹介に始まり、配布資料（3点、当協会の自己紹介、郵趣振興大賞の説明、会計に関する報告）の解説を行った後、参加者からの質疑応答・ご意見聴取の時間としました。

参加者からの質疑応答・ご意見やりとりを抜粋してご紹介します（7名）

- ・協会の管理する切手コレクション展示パネルの管理および補修に関するご質問
- ・寄附状況に関するお問い合わせ及びご意見
- ・スタンペックスジャパンへの外国人審査員の招聘を続ける上での財政基盤の強化に関するご意見
- ・事務所費用が0円であることに対するご質問
- ・全日本切手まつり（他法人の運営）に関するご意見
- ・青少年の育成に関するお問い合わせ（冊子・催事）
- ・郵趣振興大賞の運用に関するご質問

当協会の運営はこれまで透明性を重視して行ってまいりましたが、昨日、対面形式の意見交換の場を設けたことにより、その方向性をより強化することができたと考えております。

来年以降もこの様な場を継続したいと考えております。開催スケジュールについては、当協会の運営に携わる方々の時間的余裕のある JAPEX を念頭にしております。またのご来場をいただければ幸いです。

理事の任期に関わる報告

当協会は本年3月25日に総会を開催し、新役員を選任しました（活動報告33にて報告済み）が、法人登記の段階で東京法務局より不受理となりました。不受理の理由は6月27日まで旧役員の任期が残る為であり、同日付で再度登記を行い、登記が完了しました。これにより、現任役員の任期は、2027年6月27日までとなりましたので、ご報告します。

世界切手展＜PHILATAIPEI 2026＞コミッショナーの選定の実施

国際切手展に派遣する日本コミッショナーは、従来は、一社）全日本郵趣連合 が決定しており、PHILATAIPEI 2026 についても同様でした。

しかし、同団体は、日本コミッショナーの選出が困難となった為、2025/10/19 に、上部団体である国際郵趣連盟で伝統郵趣委員会の委員長を務める佐藤浩一氏にコミッショナー選定を依頼しました。

この状況を受けて、2025/10/20 に、佐藤浩一氏より当協会には、「PHILATAIPEI 2026 コミッショナー選出について」という申し入れが、書面により行われました。

本依頼への対応にあたり、「『コミッショナー派遣事業』は他団体の事業であり、当協会の事業ではない為、理事会の承認が必要」との意見が複数の理事からあったことから、「（一社）全日本郵趣連合より）近日中になされる」と伝えられていた案内を待ち、理事会を開催することにしました。

その結果、2025/11/10 に一社）全日本郵趣連合のホームページに記事「2024 年ルーマニア国際切手展コミッショナー監査請求について」が掲載され、PHILATAIPEI 2026 のコミッショナーの空席が確認できましたので、当協会は 2025/11/11 に開催された理事会にて、佐藤浩一氏からのご依頼を受けて、＜PHILATAIPEI 2026＞コミッショナーの選定を行うことを決定いたしました。

ニュースレター発行日現在、以下のスケジュールで選考中ですので、お知らせします。

11/14 公募によるコミッショナーの立候補を募集開始（11/22まで）

11/21 コミッショナー選定会議開催の告知および参加者の募集を開始（11/29 15 時まで）

11/29 <PHILATAIPEI 2026> コミッショナー選定会議を開催（議長 中野 健司 理事）

12/8 コミッショナーを選定（予定）

会員の異動に関する紹介（2025/9/15 - ）

当該期間に、1名の新会員をお迎えすることができましたので、ご紹介させていただきます。頂戴した会費・寄付金につきましては、総会の決議に従い、大切に使わせていただきます。

新入会（正会員）：秋吉 誠二郎 様

寄付に関する報告

本ニュースレター発行期間内に、当協会に頂戴した寄付は、現金 314,750 円（3 件）です。なお当協会の活動において、会費も寄付的な性格が強いですが、会計上は寄附金とは別項目で計上しています。会費・寄附金のいずれも、郵趣振興に関する公益団体である当協会の活動にご共感いただき頂戴した事業資金になりますので、当協会だけでなく広く郵趣振興の役に立つよう、総会の決議に従い、大切に使わせていただきます。

ご寄附 30 万円（斎 享 様）12,750 円（安藤 源成 様）

スタンペックスジャパン運営寄附（1 口二千円）への協力 宮戸 俊介 様 1 件 2,000 円

各種事業の進捗について（事業進捗の報告者：理事 菊地 恵実）

当協会は5つの事業「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クオーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビション事業

第7回全国切手展 スタンペックスジャパン2026の開催準備

実行委員会・審査員会がそれぞれ活動を開始

9/1 スタンペックスジャパン2026公式HP立ち上げ (<http://stampex.jp>)

10/6 アプレンティス審査員の募集（告知）

10/28 協力団体の発表

郵博 特別切手コレクション展（2025年度）の開催。

7/10-7/21 東京ワンフレームチャンピオンシップ2024（博物館展示+クラウド展示）

郵博 特別切手コレクション展（2026年度）の開催スケジュールの調整。

リサーチ及び研究推進事業

当該期間に、本事業の活動は特段ありませんでした。

フィラテリックPR事業

情報発信を実施（ブログ：6-8月で9件。対前四半期+13%。他にX(旧Twitter)を実施）

(1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催（6月-8月）

日本切手研究会 4回

外国切手研究会 4回

昭和切手研究会 3回

南方占領地切手コレクターズクラブ 4回

(2) 取材対応

朝日新聞社東京本社デジタル企画報道部 依頼の全日本切手まつり2025に対するインタビューへの対応（9/4付け「ガム包み紙購入コレクター語る沼」記事として掲載、Yahoo!ニュースにおいて240件を超えるコメントを得る）（担当：水谷行秀 理事）

ニュースリリース「宮城県在住の切手コレクター・斎享氏がソウル世界切手展で「世界大賞」を受賞」を発行（9/24付け）河北新報（10/10付け）他に記事として掲載。

韓国郵趣連盟（The Philatelic Federation of Korea）機関紙「WOOPYO」10月号にて当協会菊地理事の特集記事が掲載。（担当：菊地恵実 理事）

総務ほか

後援する催事主催者からの、開会式出席依頼への対応

依頼団体：全日本切手まつり実行委員会

内容：行德国宏 名誉会長が、7/19開催の開会セレモニーに出席しテープカットを行う。

理事会の開催 9/11, 10/1, 10/21, 11/11, 12/1

スタンプショウ広島2026（2026/4/25-26開催）の後援依頼について受諾（10/21 理事会）

法務局への法人登記（登記まで完了）都庁とのやりとり（提出済み、先方作業待ち）

日常的な営業・問い合わせへの対応

日常的な経理業務